

HELP Martin's Campus

マーティンス校のご案内



INDEX

- 1. はじめに
 - 1-1. ヘルプ英語学校
 - 1-2. 校風
 - 1-3. マーティンス校の位置付け
- 2. マーティンス校
 - 2-1. 特徴
 - 2-2. 校舎
 - 2-3. プログラム概要
 - 2-4. 授業 (マンツーマン授業、グループ授業、早朝授業、特別授業)
- 3. 学生寮
 - 3-1. 概要
 - 3-2. 部屋・施設
 - 3-3. 食事
- 4. 規則
 - 4-1. 生活規定
 - 4-2. 罰則規定
- 5. 補足(学業関連)
 - 5-1. 課題(リスニング&シャドーイング課題、パターン課題)
 - 5-2. 単語テスト
 - 5-3. 模擬試験、公式試験(IELTS/TOEFL/TOEIC)
- 6. 補足(生活関連)
 - 6-1. 清掃
 - 6-2. 洗濯
 - 6-3. 街への交通手段
 - 6-4. 校内クリニック・近隣の病院
- 7. 補足(その他)
 - 7-1. 転校
 - 7-2. 週末の過ごし方
 - 7-3. マーティンス校の講師



1-1. ヘルプ英語学校

創立1996年のヘルプは、フィリピンにある英語学校の中で最も歴史のある学校です。教育都市として名高いバギオ地域に2キャンパス(ロンロン校・マーティンス校)、首都マニラ近郊のクラーク経済特区内に1キャンパス(クラーク校)、計3キャンパスを展開しています。また、ロンロン校にはインターナショナルカレッジ「Concordia College of Benguet」が内在し、クラーク校にはオンライン英語教育センター「IBT Core Ivoline」およびインターナショナルスクール「Gentry Internation」 School」が併設されています。ボーディングスクール(学生寮一体型キャンパス)のパイオニアとして始まったヘルプは、教育の幅広い分野で注目されています。

HELP Education Group 概要

(1) 語学学校部門 (HELP English Language Program)

創立:1996年

所在:バギオ、クラーク

事業:英語学校の運営(ロンロン校、マーティンス校、クラーク校)

(2) オンライン英会話部門 (IVOLINE)

創立:1999年

所在:クラーク ※クラーク校に隣接

事業:オンライン英会話サービス

(3) ハイスクール・カレッジ部門 (Concordia College of Benguet)

創立:2014年

所在:バギオ ※ロンロン校舎内

事業:インターナショナルカレッジの運営

(4) ジュニアプログラム部門 (Gentry International School)

創立:2008年

所在:クラーク ※クラーク校に隣接

事業:インターナショナルスクールの運営











1-2. ヘルプの校風

フィリピンに数ある学校の中でも、ヘルプは一二を争う厳しい校風を持った学校です。学校生活および寮生活に多くの規則を設けることで学校内の風紀を保っています。一部の校則違反には「外出禁止」「罰金」の罰則を設けています。悪質な内容に関しては「退学」措置をとる場合もあります。万人受けをする学校ではありませんが、その分自律ある真剣な学生が集まりやすい特徴を持っています。

1-3. マーティンス校の位置付け

ヘルプ英語学校が展開する3キャンパスは、以下の異なる特色を持っています。

キャンパス	マーティンス	ロンロン	クラーク
対象	中級~上級者(※1)	初級~中級者	初級~中級者
規模	100名	430名	250名
校則・寮則	非常に厳しい	非常に厳しい	厳しめ
日本人比率	15-25%	5-10%	10-20%
入学試験	あり (※2)	なし	なし
ポピュラーなコース	TOEFL·IELTS (%3)	TOEIC · ESL	TOEIC · ESL
入学可能な年齢	満18歳以上	満15歳以上	満15歳以上

※ 1

中級以上の学生対象としているため、校内の英語使用に関する規則は厳しく管理がされています。 基礎的な英会話力が不安な方、初級中者向けの校舎(ロンロン校・クラーク校)をご検討ください。 尚、2018年入学者のTOEIC平均は730点程度です。一つの目安としてお考え下さい。

%2

マーティンス校に限り、入学に際して英語面接試験を実施しています。試験通過者のみ、当キャンパスへの入学が認められます。試験はスカイプよる音声通話で実施されます。試験はマーティンス校に在籍するフィリピン人講師により実施されます。試験は時間は約十分間、講師との質疑応答形式です。尚、転校試験により、他キャンパスからマーティンス校へ移動することも可能です。この場合、外部からの直接入学とは異なり、四技能を測る試験が実施されます。

%3

在校生の70%超が「IELTS」もしくは「TOEFL」コースの受講生です。IELTSコースの場合、大半の学生が5.5-7.0の目標設定をしています。コース受講の際は「5.0以上」を目安にしてください。TOEFLコースの場合、大半の学生は60-90の目標設定です。受講の目安としては、「50以上」を目安にしてください。IELTS5.0未満・TOEFL50未満の場合、まずはロンロン校での留学をおすすめします。



2-1. マーティンス校の特徴

バギオの中心街にある「マーティンス校」は、上級者向けのキャンパスとして位置付けされています。入学選抜試験を設けることにより、教育の質・生活環境だけではなく、高い志を持った学習意欲のある学生が多く集まります。上級者向けのテスト対策コース(TOEFL・IELTS)を取得したい学生にお勧めのキャンパスです。他キャンパスの在校生も内部転校試験を通過することによって、マーティンス校に転入することができます。

教育の質へのアプローチ

ヘルプでは何よりも「講師の質」を重視しています。常勤講師が長く働きやすい環境を整えることによって、安定した高水準の教育にアプローチをしています。特にマーティンス校では、ヘルプ英語学校の中でも講師に高い基準を求めています。講師の大半が勤続五年以上のベテランで、各種試験対策に強みを持っています。

コストパフォーマンス

大規模な経営かつサービスの多角化により、教育の品質を落とすことなく多くの面でコストダウンを実現しています。同価格帯のプログラムと比較して、ヘルプではより多くのマンツーマン授業を受講することができます。また、講師の待遇を整えることで、安定して講師が長期で働きやすい環境をつくっています。

あらゆるニーズに対応

多彩なコース・部屋タイプの組み合わせにより、お客様の予算・希望に合わせたプログラムを組むことが可能です。また、同グループに複数キャンパスがあるため、就学途中の転校により、その時のレベルに合わせて環境を帰ることができます。キャンパスの柔軟性と転校制度により、柔軟かつ細やかなニーズに対応可能です。

中級~上級者向けの本格スパルタ

入学試験を設けることで、他キャンパスと学生のレベルをしっかりとすみ分けています。英会話が全くの初めての学生は入学できない仕組みのため、学校は高いレベルで英語によるオペレーションを行うことができます。講師だけではなく、スクールメイトとも英語でコミュニケーションをとる機会が必然的に増えるので、英語学習に没頭することができます。ヘルプには真面目な学生が多く集まるため、風紀ある学校で学びたい方、モチベーションの高い学生が集まる場で学びたい方には絶好の環境です。学習・生活の両面を学校が管理するため、現地トラブルが不安なお客様でも安心です。

第一に「安全」、第二に「学習に没頭できる環境」を考えています。外出・門限に関するルールが厳しいため、 校則に縛られることなく外出したい方は入学をご遠慮ください。尚、平日は外出禁止、土曜の外出可能な時間帯は 6:00-24:00、日曜は6:00-18:00です。(別途、未成年者には細かいルールを設ける場合があります)



2-2. 校舎

マーティンスは地下一階~六階建ての校舎です。



	マーティンス校				
6F	教室、自習室、IELTS公式試験会場(※)				
5F	学生寮				
4F	学生寮				
3F	学生寮				
2F	学生寮				
1F	オフィス、教室、食堂、売店				
В1	教室				

※ IELTS IDP主催の公式試験の一部スケジュールは、マーティンス校の6階で受験可能です。



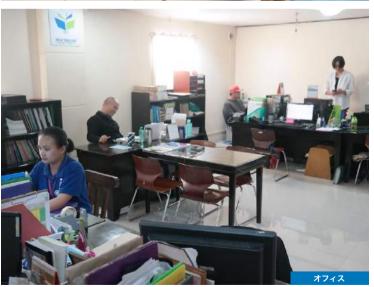












※平日の校舎内および外出可能エリアでは、英語使用義務が課されます。(オフィスは母国語OKです) ※自習室だけではなく、ロビーやダイニングホールも自習の場として開放しています。





© 2018 HELP ENGLISH LANGUAGE PROGRAM, INC.



2-3. プログラム概要

(1) プログラムの流れ

マーティンス校のプログラムは4週1単位です。(1週目入学の例)

	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1週目	渡航	プレイスメントテスト オリエンテーション	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング 模擬試験	休み
2週目	休み	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング 模擬試験	休み
3週目	休み	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業 ミーティング 模擬試験	休み
4週目	休み	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業月末テスト	通常授業 ミーティング 模擬試験	帰国

※テスト対策コース(TOEIC・TOEFL・IELTS)の場合、スケジュールの関係でプレイスメントテストテスト (レベル分け試験)を入学日翌日に行うことがあります。

※プログラムの開始週は年間で固定です。入学日によっては表の3週目から開始となります。この場合は入学初日が「プレイスメントテスト・オリエンテーション」となり、以降は1週目入学者と同スケジュールです。

プレイスメントテスト

クラス分け試験です。試験の結果で使用する教科書やグループ授業が振り分けられます。

新入生オリエンテーション

留学に必要な手続きや学校生活に必要な知識をレクチャーします。学校内の説明の後、生活品の買い出しの為、 近隣のショッピングモールへお連れします。このタイミングで両替が可能です。

ミーティング(木曜) ※週によって開催日は異なります

喚起事項等の連絡のために行います。

模擬試験

毎週金曜の放課後、全てのコースで模擬試験を行っています。

※ESLコースはオリジナルの実力試験を実施、BusinessコースはTOEIC模擬試験に参加

!在校確認(土曜・日曜)!

マーティンス校では、土曜真夜中24時、日曜18時に在校確認をしています。スタッフのルームチェックが入り、確認時に部屋で在籍が確認できない場合、ペナルティを課しています。(1~3週間の外出禁止または除籍)

© 2018 HELP ENGLISH LANGUAGE PROGRAM. INC.



(2) 1日の流れ

通常授業の一日の流れは以下の通りです。

※マーティンス校でオーソドックスな「IELTS」コースの場合

6:40 – 7:00	7:00 – 7:40	8:00 – 8:50	9:00 – 9:50	10:00 – 10:50	11:00 – 11:50
朝食	早朝クラス	空き時間	マンツーマン授業	マンツーマン授業	空き時間
12:00 – 13:00	13:00 - 13:50	14:00 - 14:50	15:00 - 15:50	16:00 - 16:50	17:00 – 17:50
昼食	1:4 グループ授業	空き時間	マンツーマン授業	マンツーマン授業	特別クラス
17:50 – 18:20	18:20 - 19:10	20:00 - 20:30	20:30-	25:00	
夕食	特別クラス	単語テスト	休憩・自習	消灯	

※オプション授業2コマのうち、1コマは選択必須、1コマは任意参加です。

(3) 開講コース

マーティンス校舎では、以下のコースを開講しています。

一般英会話コース: ESL-5、ESL-6、ESL-8、BUSINESS ※コース名の数字は個別授業の数

テスト対策コース: TOEIC、TOEFL、IELTS

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
ESL-5	5コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	9.5コマ
ESL-6	6コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	10.5コマ
ESL-8	874	_	_	2コマ	10コマ
BUSINESS	4コマ	1コマ	0.5コマ	2コマ	7.5コマ
TOEIC	4コマ	1コマ	0.5コマ	2コマ	7.5コマ
TOEFL	4コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	8.5コマ
IELTS	4コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	8.5コマ



コース紹介

HELPのカリキュラムは、マンツーマン授業が主体です。一般的には全体の1/3はグループ授業ですが、HELPでは1コマの小グループを除き、日中の講義は全てマンツーマン授業で構成しています。英会話コースでは、好みに合わせて4~8コマの間でマンツーマン授業数を決めることができます。体力に不安な方から自信のある方まで、幅広い層のニーズに合わせてコース提供をしています。

英会話コース (ESL-5・ESL-6・ESL-8)

定番の一般英会話コースです。HELPではマンツーマン授業数に応じて「ESL-5」「ESL-6」「ESL-8」の4コースを開講しています。(コース名の数字はマンツーマン授業の数を表しています)マンツーマン授業では英語の4スキル(読む・聞く・話す・書く)をバランスよく学びます。

※マーティンス校で一番ポピュラーなコースは「ESL-5」です。

ビジネスコース

ビジネスをテーマにしたコースです。授業では「ビジネスで通用する英語コミュニケーション」の習得を目標としています。授業ではビジネスシーンを想定して「英単語・適切な表現」を学びます。演習では、ディスカッション、ディベート、ロールプレイング、プレゼンテーション等のテーマに取り組みます。

テスト対策コース(TOEIC・TOEFL・IELTS)

校内でも各試験の対策指導に長けた講師が担当をします。英会話コースと比較して、マンツーマン授業数は控えめですが、その代わりに授業毎の負荷が高くなります。授業では基礎をしっかりと築き、演習と解説を繰り返すことによって、スコアアップにアプローチをします。





コース詳細 (ESL-5)

マーティンス校が提供する一般英会話コースで最もポピュラーなコースです。以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
ESL-5	5コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	9.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:30 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:40	早朝クラス(MRC)	大教室でのグループ授業です。(講師1:学生10人-15人)授業ではニュース等の音源を利用して、ディクテーションや発音チェックを行います。授業ではスクリプトを配布します。午後の休憩時間に所定場所で、スクリプトが正しく読めるかの発音チェックを受ける必要があります。
8:00 – 8:50	空き時間	
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:リーディング (学生のレベルに対応した教科書あり) 授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。 単に読むだけではなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションも適宜あります。他教科と比較し て単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	教科:リスニング (学生のレベルに対応した教科書あり) キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では 単に教科書の問題を解くだけではなく、要所要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。(音を 捉えるために、発音やイントネーションの指導も授業内で行います。
11:00 – 11:50	グループ授業	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、 ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。 学生が少なめのグループ授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。
12:00 – 12:50	昼食	
13:00 – 13:50	グループ授業	講師1学生4名の小グループ授業です。リスニング・発音練習に特化したクラスです。こちらのグループ授業では、リンキング(音の繋がり)や会話の頻出フレーズ、パラフレーズ等を多く学び、リスニングカの向上にアプローチします。また、同授業では発音・アクセント練習も重点的に行います。
14:00 – 14:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 授業のトピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止しています。
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	教科: ライティング (学生のレベルに対応した教科書あり) ライティングに必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、その後演習として英作文やエッセイを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。また、誤りの訂正だけではなく、ライティングにおけるより良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
16:00 – 16:50	マンツーマン授業	カスタマイズ教科(学生の要望に応じてターゲットスキルを設定) マンツーマン授業が5コマ以上ある場合、5コマ目以降は学生の希望に応じて授業を行います。 ※ 特別な希望がなければ、教科は担任講師によって設定されます。 ※ 英会話内容を著しく外れる内容には対応ができません。 例、深い専門知識を要する講義、試験対策、等
17:00 – 17:50	スペシャルクラス (1)	
17:50 – 18:30	夕食	
18:20 - 19:10	スペシャルクラス (2)	
19:30 – 19:45	単語テスト	

こんな人にオススメ!

初めて英会話を学ぶ人にオススメのコースです。ヘルプが提供する英会話コースの中では一番バランスが取れています。英会話コースのマンツーマン授業数に迷うのであれば、こちらのコースをお取りください。※4週間のプログラムごとにコース変更可能です。負荷が小さければ一つマンツーマン授業が多い「ESL-6」ヘグレードアップすることができます。(ただし、コース間の差額の支払いが必要です)



コース詳細 (ESL-6)

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
ESL-6	6コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	10.5コマ

1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:30 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:40	早朝クラス(MRC)	大教室でのグループ授業です。(講師1:学生10人-15人)授業ではニュース等の音源を利用して、ディクテーションや発音チェックを行います。授業ではスクリプトを配布します。午後の休憩時間に所定場所で、スクリプトが正しく読めるかの発音チェックを受ける必要があります。
8:00 – 8:50	マンツーマン授業	教科:リーディング(学生のレベルに対応した教科書あり) 授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。 単に読むだけではなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションも適宜あります。他教科と比較して単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:リスニング (学生のレベルに対応した教科書あり) キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では 単に教科書の問題を解くだけではなく、要所要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。(音を 捉えるために、発音やイントネーションの指導も授業内で行います。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 授業のトピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止しています。
11:00 – 11:50	グループ授業	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、 ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。 学生が少なめのグループ授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。
12:00 – 12:50	昼食	
13:00 – 13:50	グループ授業	講師1学生4名の小グループ授業です。リスニング・発音練習に特化したクラスです。こちらのグループ授業では、リンキング(音の繋がり)や会話の頻出フレーズ、パラフレーズ等を多く学び、リスニング力の向上にアプローチします。また、同授業では発音・アクセント練習も重点的に行います。
14:00 – 14:50	マンツーマン授業	教科: ライティング (学生のレベルに対応した教科書あり) ライティングに必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、その後演習として英作文やエッセ イを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。また、誤りの訂正だけではなく、 ライティングにおけるより良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	カスタマイズ教科 (学生の要望に応じてターゲットスキルを設定) マンツーマン授業が5コマ以上ある場合、5コマ目以降は学生の希望に応じて授業を行います。
16:00 – 16:50	マンツーマン授業	※ 特別な希望がなければ、教科は担任講師によって設定されます。※ 英会話内容を著しく外れる内容には対応ができません。 例、深い専門知識を要する講義、試験対策、等
17:00 – 17:50	スペシャルクラス (1)	
17:50 – 18:30	夕食	
18:20 - 19:10	スペシャルクラス (2)	
19:30 – 19:45	単語テスト	

こんな人にオススメ!

ボリューム多めの英会話コースです。英会話コースの中では、二番目に受講者が多いコースです。

朝から晩までみっちりとマンツーマン授業を取りたい人にオススメのコースです。

※4週間のプログラムごとにコース変更可能。負荷が大きければ「ESL-5」へダウングレードが可能です。ただし、コース間の差額がマイナスの場合、研修費用の返金はありません。



コース詳細 (ESL-8)

マーティンス校が提供する一般英会話コースで最もマンツーマン授業の多いコースです。以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
ESL-8	8コマ	-	-	2コマ	10コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:30 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:40		
8:00 – 8:50	マンツーマン授業	教科:リーディング(学生のレベルに対応した教科書あり) 授業のトピックに関する単語・表現・予備知識を確認し、教科書の読み物をベースに授業が展開されます。 単に読むだけではなく、理解度を確認するためにクイズやディスカッションも適宜あります。他教科と比較して単語レベルは若干難しめで、課題の量も多くなります。
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:リスニング (学生のレベルに対応した教科書あり) キーワードや音の繋がり等、英語をききとるための要素の復習等を行なった上で授業に入ります。授業では 単に教科書の問題を解くだけではなく、要所要所でリスニングのためのテクニック指導を行います。(音を 捉えるために、発音やイントネーションの指導も授業内で行います。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 授業のトピックに関する単語・表現を確認した後、演習としてディスカッションやディベート、プレゼンを行います。話す練習のため、発音・文法・表現をしながらの授業展開です。なお、ヘルプでは授業ごとにトピックを必ず設けています。基本的にフリートークは禁止しています。
11:00 – 11:50	マンツーマン授業	教科:ライティング (学生のレベルに対応した教科書あり) ライティングに必要な基礎知識(起承転結に必要なフレーズ等)を学習し、その後演習として英作文やエッセ イを行います。講師は随時添削を行い、文法・表現等のミスを修正します。また、誤りの訂正だけではなく、 ライティングにおけるより良い表現や適切な言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
12:00 – 12:50	昼食	
13:00 – 13:50	マンツーマン授業	カフクフノブ教科(尚先の西切に広じてカーゲットフナル东部中)
14:00 – 14:50	マンツーマン授業	カスタマイズ教科(学生の要望に応じてターゲットスキルを設定) マンツーマン授業が5コマ以上ある場合、5コマ目以降は学生の希望に応じて授業を行います。
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	※特別な希望がなければ、教科は担任講師によって設定されます。
16:00 – 16:50	マンツーマン授業	※ 英会話内容を著しく外れる内容には対応ができません。 例、深い専門知識を要する講義、試験対策、等
17:00 – 17:50	スペシャルクラス (1)	
17:50 – 18:30	夕食	
18:20 - 19:10	スペシャルクラス (2)	
19:30 – 19:45	単語テスト	

こんな人にオススメ!

日中の授業は全てマンツーマン授業です。とにかくマンツーマン授業を多く取りたい人にオススメです。 非常に過密なコースのため、4週以下の短期留学者にオススメのコースです。

※4週間のプログラムごとにコース変更可能。負荷が大きければ「ESL-5」「ESL-6」へダウングレードが可能です。ただし、コース間の差額がマイナスの場合、研修費用の返金はありません。



コース詳細(BUSINESS)

上級者向けの英会話コースです。以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
BUSINESS	4コマ	1コマ	0.5コマ	2コマ	7.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:40 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:30	早朝クラス	大教室でのグループ授業です。(講師1:学生10人-15人)授業ではニュース等の音源を利用して、ディクテーションや発音チェックを行います。授業ではスクリプトを配布します。午後の休憩時間に所定場所で、スクリプトが正しく読めるかの発音チェックを受ける必要があります。※ ESLコースと共通
8:00 – 8:50	空き時間	
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:ビジネス英単語 ビジネスシーンでよく使われる「英単語・熟語・表現」について学びます。シチュエーションごとに体系的に学びます。授業では、学んだ言葉をベースに英作文や用法の確認を行います。翌日の授業では、前日に学んだ言葉の復習テストから始まります。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	ディスカッション・ディベート 特定のビジネスシーンを想定し、講師とディスカッション・ディベートを行います。授業の冒頭では、スピーキングのためのキーワードや予備知識の演習があります。相応しくない表現や内容の矛盾については、適宜 講師から指導が入ります。内容によっては、課題として授業準備の必要があります。
11:00 – 11:50	空き時間	
12:00 – 13:00	昼食	
13:00 – 13:50	グループ授業	講師1学生4名の小グループ授業です。クラスメイトは学内の同じレベルで構成されます。講師主導の下、ディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどのグループワークを中心に授業展開がされます。学生が少なめのグループ授業のため、授業中には発言する機会が多くあります。※ ESLコースと共通
14:00 – 14:50	マンツーマン授業	プレゼンテーション ミーティング等のシーンを想定し、プレゼンテーションを行います。学生主導で授業を進める必要があるので、授業準備をしっかりとする必要があります。プレゼン中、講師はプレゼンのポイントごとに適切な表現や話の組み立て方を指導します。プレゼンに使用するスライド等は学生各自で用意する必要があります。
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	ビジネスライティング (メール、企画書、報告書等) シーンを想定し、講師と共にライティングについて学びます。基本的にはESLのライティング教科と同じ授業 展開ですが、よりビジネスに寄ったテーマが設定されます。授業中には、ビジネスの上でのより良い表現や 適切な言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
16:00 – 16:50	空き時間	
16:55 – 17:10	単語テスト	
17:10 – 18:00	スペシャルクラス	
18:00 – 19:00	夕食	

ビジネスコースについて

ビジネスシーンをベースにしたディスカッション・プレゼンテーション・ディベートを行います。ビジネスで通用する英語コミュニケーションの習得を目標としています。授業は「ビジネス英単語」「分かりやすい伝え方」「丁寧な言い回し」「ロールプレイング」を中心に展開します。扱うトピックはビジネスライクなものが多いため、一般英会話で物足りない方やビジネスシーンでの英語使用を想定される方に向いています。ESLと比較して授業の内容が深いため、課題や授業の準備には多くの時間を割く必要があります。



コース詳細(TOEIC)

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
TOEIC	4コマ	1コマ	0.5コマ	2コマ	7.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:30 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:40	早朝クラス(MRC)	大教室でのグループ授業です。(講師1:学生10人-15人)授業ではニュース等の音源を利用して、ディクテーションや発音チェックを行います。授業ではスクリプトを配布します。午後の休憩時間に所定場所で、スクリプトが正しく読めるかの発音チェックを受ける必要があります。
8:00 – 8:50	空き時間	
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:リスニング(パート1・2) 講師と共に演習と解説を繰り返します。解答を導くためのテクニックも併せて解説がされます。 頻出する単語・キーワード・パラフレーズについても学習をします。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	教科: リスニング (パート3・4) パート1・2の授業展開に加えて、リスニングの中でのキーワードの捉え方を学びます。 スクリプトを基に音読及び発音チェックを行い、リスニングの基礎力の向上にも取り組みます。
11:00 – 11:50	空き時間	
12:00 – 12:50	昼食	
13:00 – 13:50	グループ授業	教科: リスニング&リーディング 講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
14:00 – 14:50	空き時間	
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	教科: リーディング (パート5・6)講師と共に演習と解説を繰り返します。解答を導くためのテクニックも併せて解説がされます。頻出する単語・キーワード・パラフレーズについても学習をします。語彙問題、自制問題、文法問題、品詞問題等、問題はカテゴリーごとに体系的に学習をします。
16:00 – 16:50	マンツーマン授業	教科: リーディング (パート7) 講師と共に演習と解説を繰り返します。長文読解のコツと問題を早く解くためのテクニックがレクチャーされます。並行して、学生の基礎的な読解力をあげるため、授業ではタイムリミットを設けてより多くの問題をこなすことを目標にしています。授業でやりきれなかった問題は、課題として出されます。
17:00 – 17:50	スペシャルクラス (1)	
17:50 – 18:30	夕食	
18:20 - 19:10	スペシャルクラス (2)	
19:30 – 19:45	単語テスト	

TOEICコースについて

4時間のマンツーマン授業は「パート1・2」「パート3・4」「パート5・6」「パート7」に分けて授業を行います。 基本的には演習型の講義です。学生の間違えた問題、理解が浅い問題に対して解説を中心に授業が展開されます。授業では、 テスト攻略に必要な「語彙教科」「頻出フレーズ」「解法のテクニック」「時間配分」を中心に学びます。学習の量と質より、 スコアアップへのアプローチを行います。毎週末に実施される模擬試験で、定期的に成長を確かめることが可能です。 マーティンス校・ロンロン校の場合、バギオ市内で公式試験の受験が可能です。

※元のスコアが600点以下の場合、4週のコース受講で平均100点前後のスコアアップが見込めます。600点以上の場合、平均 50-80点アップが見込めます。学生によっては $4\sim8$ 週で $200\sim300$ 点アップの実績があります。(例、 $550\rightarrow850$)



コース詳細(TOEFL)

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
TOEFL	4コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	8.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:30 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:40	早朝クラス(MRC)	大教室でのグループ授業です。(講師1:学生10人-15人)授業ではニュース等の音源を利用して、ディクテーションや発音チェックを行います。授業ではスクリプトを配布します。午後の休憩時間に所定場所で、スクリプトが正しく読めるかの発音チェックを受ける必要があります。
8:00 – 8:50	空き時間	
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 「Independent Tasks」「Integrated Tasks」の形式ごとに演習を行います。基本的には演習と解説の繰り 返しです。話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの型についても適宜レクチャーがあります。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	教科:ライティング(学生のレベルに対応した教科書あり) ライティングに必要な基礎知識を学習し、その後テキストの演習に取り組みます。講師は随時添削を行い、 文法・表現等のミスを修正します。誤りの訂正だけではなく、ライティングにおけるより良い表現や適切な 言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
11:00 – 11:50	空き時間	
12:00 – 12:50	昼食	
13:00 – 13:50	グループ授業	教科:リスニング 講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
14:00 – 14:50	グループ授業	教科:リーディング 講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 「Independent Tasks」「Integrated Tasks」の形式ごとに演習を行います。基本的には演習と解説の繰り 返しです。話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの型についても適宜レクチャーがあります。
16:00 – 16:50	マンツーマン授業	教科:ライティング(学生のレベルに対応した教科書あり) ライティングに必要な基礎知識を学習し、その後テキストの演習に取り組みます。講師は随時添削を行い、 文法・表現等のミスを修正します。誤りの訂正だけではなく、ライティングにおけるより良い表現や適切な 言葉遣い、パラフレーズ等の学習も並行して行います。
17:00 – 17:50	スペシャルクラス (1)	
17:50 – 18:30	夕食	
18:20 - 19:10	スペシャルクラス (2)	
19:30 – 19:45	単語テスト	

TOEFLコースについて

HELPマーティンス校では、入学時にプレイスメントテストを行い、学生の校内レベルを初級・中級・上級の3段階に振り分けています。グループ授業は同一レベルの学生で構成されます。また、授業で使用する教材もレベルによって決定します。(セクション間で能力にばらつきがある場合は、学生の各セクション能力に合わせて教材を充てます)基本的には、レベルに合わせて授業展開が行われます。



コース詳細 (IELTS)

以下、授業数の内訳です。

コース名	マンツーマン	1:4グループ	早朝グループ	オプション	合計
IELTS	4コマ	2コマ	0.5コマ	2コマ	8.5コマ

以下、1日の時間割と各レッスンの概要です。※一例です。各自時間割は異なります。

時間	スケジュール	概要
6:30 – 7:00	朝食	
7:00 – 7:40	早朝クラス(MRC)	大教室でのグループ授業です。(講師1:学生10人-15人)授業ではニュース等の音源を利用して、ディクテーションや発音チェックを行います。授業ではスクリプトを配布します。午後の休憩時間に所定場所で、スクリプトが正しく読めるかの発音チェックを受ける必要があります。
8:00 – 8:50	空き時間	
9:00 – 9:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 「Part 1」「Part 2」「Part 3」の形式ごとに演習を行います。頻出問題の反復練習をします。 話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの型についても適宜レクチャーがあります。
10:00 – 10:50	マンツーマン授業	教科: ライティング 「Task 1」「Task 2」の形式ごとにライティング課題が出されます。授業では、課題の添削後、ミスの解説とより良いライティングをするための指導が行われます。授業では、実用的なフレーズや文章の組み立て方についても学習し、より早く書けるテクニックについても解説が行われます。
11:00 – 11:50	空き時間	
12:00 – 12:50	昼食	
13:00 – 13:50	グループ授業	教科: リスニング 講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
14:00 – 14:50	グループ授業	教科: リーディング 講師1学生4の小グループです。実際の公式テストを想定して、授業では演習と解説を繰り返します。
15:00 – 15:50	マンツーマン授業	教科:スピーキング (学生のレベルに対応した教科書あり) 「Part 1」「Part 2」「Part 3」の形式ごとに演習を行います。頻出問題の反復練習をします。 話の組み立て方やテストで実用的なスピーキングの型についても適宜レクチャーがあります。
16:00 – 16:50	マンツーマン授業	教科: ライティング 「Task 1」「Task 2」の形式ごとにライティング課題が出されます。授業では、課題の添削後、ミスの解説とより良いライティングをするための指導が行われます。授業では、実用的なフレーズや文章の組み立て方についても学習し、より早く書けるテクニックについても解説が行われます。
17:00 – 17:50	スペシャルクラス (1)	
17:50 – 18:30	夕食	
18:20 - 19:10	スペシャルクラス (2)	
19:30 – 19:45	単語テスト	

IELTSコースについて

HELPマーティンス校では、入学時にプレイスメントテストを行い、学生の校内レベルを初級・中級・上級の3段階に振り分けています。グループ授業は同一レベルの学生で構成されます。また、授業で使用する教材もレベルによって決定します。(セクション間で能力にばらつきがある場合は、学生の各セクション能力に合わせて教材を充てます)基本的には、レベルに合わせて授業展開が行われます。



2-4. 授業

マーティンス校では、以下四種の授業を提供しています。

(1)マンツーマン授業

一対一の授業です。英会話系のコースでは「読む・聴く・話す・書く」の4技能をバランスよく学びます。一授業に対して一教科が割り振られます。学生の要望に応えて、合わせて強化科目・弱点科目に合わせた授業展開を作ることも可能です。ただし、一般英会話の内容を著しく外れる内容は対応できません。

テスト対策系コースでは、試験の各パート・セクションに合わせて授業が割り振られます。(例:TOEICの場合は「パート 1 ・ 2」「パート 3 ・ 4」「パート 5 ・ 6」「パート 7」のように系統別に分けて授業展開)

(2) 1:4 グループ授業

講師1に対して学生4の授業です。クラスはコース及びレベルごとに振り分けられます。ESLコース場合、2コマあるグループ授業は「スピーキング科目」「リスニング科目」に1コマずつ振り分けられます。IELTS/TOEFLコースの場合、「リスニング科目」「リーディング科目」に1コマずつ割り振りが行われます。

※BUSINESS/TOEICコースのグループ授業は1コマです。ESL-8にはグループ授業はありません。

(3) 早朝授業

講師 1 に対して学生10~20の授業です。クラスはレベル別に振り分けられます。授業ではニュースなどをテーマに、表現の確認や読み合わせをします。授業によっては穴埋めの形でディクテーションを行う場合もあります。当日午後、指定の場所にて授業内容のスクリプトを正しく読めるかのチェックがあります。(3分程度)

(4)特別授業(オプション授業)

プログラム毎に複数の授業が開講され、自身の興味のある授業を選択する形式です。「文法」「発音」「表現」などの基礎学習の内容のものから、TOEFL/IELTSの試験対策系のクラスなどが展開されています。







3-1. 学生寮の概要

項目	内容
キャンパス名	マーティンスキャンパス
設立	1996年
住所	Martin's Apartelle, Brentwood Village, M.Roxas street, Baguio City
最短受講期間	4週間 ※以降、二週単位で申込可(4週、6週、8週、10週…)
インターネット環境	ロビー(1F)自習室(6F)にて無料Wi-Fiを解放
門限(月曜-金曜)	外出不可
門限(土曜)	6:00-24:00の時間帯で外出可(※1)
門限(日曜)	6:00-18:00の時間帯で外出可(※1)
EOPエリア	平日日中は英語使用が義務化されています(指定エリア)
定員	100名
日本人比率	15-20%
アクセス	ニノイ・アキノ国際空港から車で6時間 クラーク空港から車で4時間
受け入れ年齢	18歳以上
施設	自習室、売店、IELTS公式試験会場 等
部屋タイプ	1人/2人(※2)

学校敷地内には食堂・売店・クリニックなどの生活に必須な施設が揃っています。以下、概要です。

₩1

祝日の外出時間は曜日によって異なります。

金曜祝日の場合は土曜スケジュール、それ以外の曜日なら日曜と同じスケジュールです。

%2

現地での差額支払いにより、部屋をグレードアップすることは可能です。 (フィリピンペソ払い可) グレードダウンの場合、一切の返金は致しません。



3-2. 部屋・施設



※マーティンス校の二人部屋は、二部屋で一組のユニットタイプです。(トイレ・シャワーは二部屋四名で共有)



3-3. 食事

校内一階のダイニングホールにて給食が提供されます。

- ※ バイキング形式です。各自、ご飯の時間内に食べます。
- ※ 韓国資本の学校ですが、韓国料理に偏った献立ではありません。 (ただし、キムチは毎食でます)
- ※ 日本食が恋しくなる人は、ふりかけや日本の調味料を持参することをおすすめします。



食事のスケジュール

スケジュール	サービス
月曜~金曜	朝食、昼食、夕食
土曜	ブランチ
日曜	ブランチ、夕食



4-1. 生活規定

授業について

4週間を1つのプログラムとして授業が展開されます。授業は平日のみ開講されます。1コマの授業は50分です。 授業は所定の教室で行われます。15分以上の遅刻は欠席扱いとなります。学校指定の教科書を使用して授業を行います。講師に要望を伝えることで、授業をカスタマイズすることが可能です。ただし、コース内容を逸脱することはできません。また、深い専門知識を有する内容等は対応ができません。(講師によっては対応できる場合がありませんが、カスタマイズを前提の講師配置はできませんので、予めご了承ください)

講師変更について

講師はプログラム毎に入れ替わります。場合によっては、翌プログラムも同じ講師が担当する場合があります。 ※4週のプログラム終了後、校内所定フォームの講師評価を提出していただきます。講師と合わなかった場合、その理由を明確に書いてください。翌プログラムでは、その点を考慮して講師配置を行います。ただし、絶対の保証はできませんのでその点はご了承ください。

出席について

病気等のやむを得ない状況を除き、授業へは出席する必要があります。正当な理由なく授業を欠席した場合、授業形態ごとに異なるペナルティ(罰金 もしくは ※ポイントの減点 等)が課されます。出席は必ずしてください。

※学内ではポイント制度を設けています。プログラム末のテストと平常点の結果より、上位得点者に表彰特典をつけています。(翌プログラムの講師選択権等)欠席や課題未提出が多い場合、テストの結果が良くても特典を受けることが難しくなります。

English Only Policy (EOP)

平日日中の指定エリアでは英語使用が義務付けられています。規則を守らなかった場合、ペナルティが発生します。(聞き手もペナルティの対象です)尚、マーティンス校のオフィスでは母国語使用が可能です。困ったことがある場合は、EOP違反で解決するのではなく、オフィスへきて解決するようにしてください。周りの学生への配慮をお願いします。

門限の遵守

外出可能時間は必ず守ってください。違反者には数週間の外出禁止の罰則が課されます。学内の風紀だけではなく、学生の安全にも関わる非常に重要な規則です。度重なるケースや故意による場合、悪質な違反とみなし、退学措置をとります。なお、違反者に対しては、外出禁止ペナルティの他、学内掲示板に顔写真の入った警告文を貼り出します。絶対に門限を破らないでください。



4-2. 罰則規定

罰則例の一部を以下に示します。

違反の内容	罰則(外出禁止)
キャンパス内への酒類搬入	3週
キャンパス内での酒類搬入および飲酒の発覚	3週
酒瓶の発見	3週
門限違反(60分未満)※過失の場合に限る	1 週
門限違反(60分超過~6時間未満)※過失の場合に限る	2週
門限違反(6時間以上)※過失の場合に限る	3週 または 除籍
外出禁止時間の無断外出(無許可でビレッジ外に出た場合)	除籍
無断外泊	除籍
キャンパス内でのギャンブル行為	2週
カジノへの出入り	2週
部屋での喫煙・炊事 ※再犯の場合、除籍	1 週 及び 罰金 P500
他学生の部屋への立ち入り(同性の場合)※招き入れた学生も同様に処罰	2週
他学生の部屋への立ち入り(異性の場合)※招き入れた学生も同様に処罰	3週
異性部屋へ20分以上滞在 ※招き入れた学生も同様に処罰	除籍
夜の騒音等(苦情があった場合)	1 週
マンツーマン授業用の教室に学生二名以上で滞在	1 週
滞在期間中に累計4週以上の外出禁止が課された場合	除籍
異性との過剰なスキンシップ	除籍
暴力、威嚇、その他迷惑行為	除籍
講師との交際	除籍
未成年の飲酒・喫煙	除籍
法律違反 および 法に抵触する恐れのある場合	除籍
卒業前で罰則が履行できない場合	罰金 P1000/週
EOP違反(指定エリアでの母国語使用)※聞き手も同様に対象	罰金 P250
他学生への迷惑行為(泥酔、マナー違反、学習妨害、嫌がらせ 等)	状況判断

社会的なモラルの欠如または著しく配慮に欠ける言動があった場合、学校スタッフの権限により罰則または 退学措置をとる場合あります。異なる国籍の学生が共同生活を行うため、文化的な習慣などは互いに尊重し合う 必要があります。互いに有益な関係が築けない場合、スタッフ権限により特別な措置をとる場合があります。 ※様々な国籍・年齢層が同じ空間で生活します。学校の風紀を保つためにも、門限及び飲酒・喫煙のルールを はじめ、共同生活の上でのマナーにはくれぐれもご注意ください。



5-1. 課題

シャドーイング課題

早朝授業の仕上げ課題です。午後に講師のチェックを受ける必要があります。※以下、一例です。

1

早朝リスニングクラス(40分)

Although India had experienced great economic development, many Indians are losing patience with the nation's public school system. The literacy rate for boys over 7 years old is only 75 percent, while that for girls is a discouraging 54 percent. Due to families' inability to pay school fees, elementary schools have a dropout rate of nearly 30 percent, In addition, only about half of the nation's 11-to 17- years old attend secondary school.

2 シャドーイング/音読課題

毎朝リスニングクラスで使用された文章で音読、 シャドーイングの練習を行い、13時~17時の 間に先生に発音のチェックをしてもらいます。



講師が不十分だと考える場合、再チェックとなるのでご注意ください。チェック後には、発音・抑揚に関して 担当よりアドバイスがあります。(早朝授業を欠席した場合、午後のチェックを受けることはできません)





5-2. 単語テスト

開催:月曜~金曜 (20:00 - 20:30)

形式:筆記 ※コース別に内容が異なります

備考: 出題範囲は事前に掲示

出題:(1) IELTS/TOEFLコースは40題 (2) ESL/TOEIC/BUSINESSコースの場合は20題

備考: (1) IELTS/TOEFLコースの場合、30/40を合格点としています。正答数が30未満の場合、

15/20もしくは30/40が合格ボーダーです。

落ちた場合は一律50ペソ、土曜の自習で打ち消すことが可能です。(1時間50ペソ)





5-3. 模擬試験、公式試験

模擬試験

マーティンス校では、毎週金曜日の夜に全コースにて模擬試験を実施しています。 (ESLコースの場合、オリジナルの実力試験です。BUSINESSコースの場合、TOEICの模擬試験です)

※コース外の学生が試験を受ける場合等、費用がかかります。

※コース内の学生及び申込者は受験義務があります。欠席の場合、ペナルティが発生します。

(コース外の申込者の場合、徴収した費用は返金いたしません)

公式試験

(TOEIC)

学内で申し込み可能です。バギオ市内で受験可能です。

(TOEFL)

各主催団体の公式サイトより個人で申し込む必要があります。バギオ市内で受験可能です。

(IELTS)

IDP主催の公式試験の場合、学内で申込可能です。(一部日程は、マーティンス校で受験可能です) British Council主催の場合、個人で申し込む必要があります。

※IELTS for UKVI試験はバギオ市内で受験ができません。最寄りの受験会場はマニラです。 イギリス留学のためにIELTS受験が必要な方はご注意ください。





6-1. 清掃(ハウスキーピング)

申請制です。校内所定のフォームに記入申請することで、週に最大三回まで部屋の清掃サービスを受けることができます。なお、廊下や教室等の共有部分は、日曜を除いて毎日清掃が入ります。 ※トラブルを避けるため、必ず学生が部屋にいる状態でサービスが入ります。

6-2. 洗濯 (ランドリーサービス)

外部業者によるサービスです。週に三回(火曜・木曜・土曜)に業者が校内所定の場所で待機します。 洗濯物を提出すれば、翌サービス日に返却が行われます。

※残念ながら、日本と比較して洗濯の質は劣ります。高価な衣服や色移りが心配なものは、個人の責任でサービス利用を判断してください。下着等、気になるものは手洗いすることをおすすめします。

※万一紛失した場合、学校では責任を負い兼ねますので予めご了承ください。

6-3. 街への交通手段

街への移動は、タクシーが便利です。

中心街までは10分、150-200円程度でアクセス可能です。

6-4. 校内クリニック・近隣の病院

マーティンス校には、校内クリニックがあります。

※平日の日中は看護師が校内で駐在しています。

※バギオには多くの病院があります。学校で処置ができない場合、病院で医師の診療にかかることも可能です。





7-1. 転校制度

隔週の入学指定日にて、ヘルプ英語学校の他キャンパスに移動することができます。就学途中で環境を変えることができます。転校を希望する場合、転校先でのプログラムが始まる2週前までにオフィスで申請をしてください。 (ご不明な点は、現地スタッフへお尋ねください)

- ※施設・システム・風紀等、十分に確認をした上で転向の申請をしてください
- ※夏休み・冬休みシーズンは空席の関係でご案内できないことがあります
- ※転校先のキャンパスで4週以上の滞在予定がある場合のみ
- ※転校は片道です。元のキャンパスに戻ることはできません
- ※転校に伴い研修費用に差額が発生する場合、転校前にキャンパスにて差額の支払いの必要があります

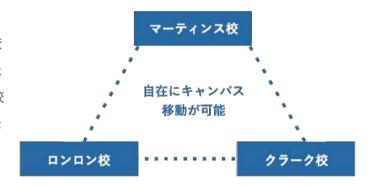
ロンロン校

初級~中級者向けのキャンパスです。日本人比率が5%程度のため、日本人学生と距離を置いて学びたい人に おすすめの校舎です。クラーク校・ロンロン校共に初中級者をターゲットにしていますが、クラーク校には 初級者が多めにいるのことに比較して、ロンロン校には中級者の割合が増えます。

※韓国人比率が高いので、この点には注意が必要です。

クラーク校

初級中級者向けのキャンパスです。他キャンパスと比較して、校則を緩めに設定してあります。リラックスした雰囲気で学びたい方にオススメの校舎です。クラーク校では「ネイティヴコース」「ビジネスコース」の提供をしています。



ロンロン校 マーティンス校 クラーク校









7-2. 週末の過ごし方

バギオはフィリピンでも有数の学園都市です。治安の良さには定評があり、街は若い人で賑わっています。 市内には素敵なレストランやお洒落なカフェ、マッサージやショッピングだけでなく、展望台や植物園などの 観光名所も数多くあります。(MINES VIEW PARK、Botanical Garden、Camp John Hay 等)

- ※ キャンパスから中心街へは、タクシーで10分の距離です。
- ※ 4週に一度の指定日、外泊を伴う外出を許可をしています。(但し、バギオ市内の宿泊は禁止)
- ※ 市内には日本食レストランも多くあります。
- ※ 高速Wi-Fiサービスを提供しているカフェも複数あります。
- ※ 土曜は夕食を外で済ます学生が多いため、ブランチのみの提供です。



バギオでの移動はタクシーが便利です。初乗りは日本円で100円程度です。 市内の少しの移動であれば、どこへアクセスするにも300-500円でアクセスが可能です。

地図上の公園 (Burnham Park) は非常に大きな公園です。敷地内は整っているため、 公園内でジョギングをするなどして体を動かすこともできます。



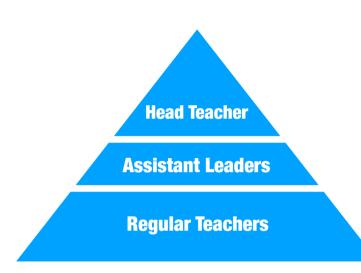
7-3. マーティンス校の講師

年齢層 : 20代前半 若干、20代後半 25%、30代前半 25%、30代後半 25%、40代以上 25%

性別 : 女性講師 85%、男性講師 15%

勤続 : 1-2年 5%、3-4年 5%、5-6年 30%、7-8年 30%、9年以上 30% ※ **90%が勤続5年以上**

ヘルプ・マーティンス校の講師は、以下のマネジメント体制 でプログラムを提供しています。



Head Teacher (ヘッドティーチャー)

講師陣のトップです。学生数に応じて、1-2名の講師が任命されます。学生のスケジュール管理及び講師のトレーニングを担当します。

Assistant Leader (アシスタントリーダー)

ヘッドティーチャーのサポート役。通常3-4名です。 コースごとに担当が異なり、ヘッドティーチャーと 同様、スケジュール管理及びトレーニングを担当。

Regular Teacher (レギュラーティーチャー)

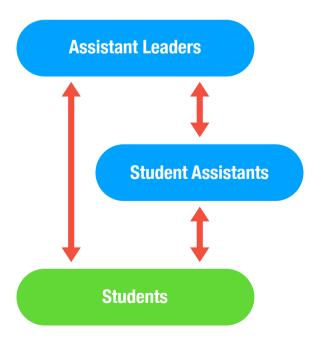
学生へ教える講師です。クラスに問題が生じた場合、 直属のアシスタントリーダーに相談して、問題解決 を行います。定期的にトレーニングの受講義務有り。

※講師に関する相談があれば、アシスタントリーダーもしくは「Student Assistant」に申し出てください。

Student Assistant (ステューデントアシスタント)

学生の世話役です。各国籍のスタッフ3-4名で構成され、 日中はオフィスに駐在しています。学校・寮でお困りの ことがあれば、お気軽にオフィスへお越しください。 ※日本人スタッフも駐在していますが、英語で他国籍の スタッフへ申し出ていただいても構いません。

※学校の用務員をイメージしてください。行き過ぎた 要求には対応できません。ご理解ご容赦お願いします。 (特別な外出許可、個別指導、配膳、おつかい、等)





【参考】現地価格の一覧 ※ 1ペソ=2.1円で計算 (2018年現在)

外国人が行くようなカフェ : 100~150ペソ(210~315円) ※ドリンク一杯当たり

外国人が行くようなレストラン :300~500ペソ(630~1,050円) ※一品当たり

マッサージ(1時間):300~400ペソ(630~840円)

映画: 180ペソ(380円)

ドライヤー : 300ペソ~500ペソ (630~1,050円)

スマートフォン : 3,000ペソ~ (6,300円~)

フィリピン国内専用の携帯電話 :500ペソ~800ペソ (1,050~1,680円)

ペットボトル飲料 : 20~40ペソ (40~80円) カップラーメン : 40~60ペソ (80~130円) タバコ : 50~70ペソ (110~150円)

ビール : 30~50ペソ (60~110円) ※350ml缶当たり

ノート・ボールペン : 10~30ペソ (20~60円)

通話料・通信料 : 300~400ペソ程度(630~840円)

【補足】よりよい留学スタートをきるために

- 1. 留学初期の頃は「自己紹介」を頻繁に行います。渡航前に「自己紹介を紙にまとめ、練習をしておくこと」を強くお勧めします。また、自己紹介から想定される質問の返しについても、可能な限りで考えておくと現地で良いスタートを切ることができます。
- 2. 授業でよく使う表現は事前に考えておくことをお勧めします。

例.

[Could you speak more slowly?] [Could you explain it again?]

「I want to know more about XXX」「Could you please write it down?」等

3. 言語学習ではお互いの文化を理解することが非常に重要です。フィリピンについて、授業で話したいトピックについて、事前によく調べておくことをお勧めします。相手のことを知りたい気持ちが、語学の理解を深めます。



【補足】学校からのお願い

以下はフィリピン人の代表的な特徴です。国民性への理解が欠けると予期せぬトラブルに巻き込まれる可能性が非常に高くなります。 フィリピン留学をする前、各項目についてチェックをお願いします。 ※必ずしも以下が全てではありません。

自尊心が高い (プライドが高い)

フィリピンでは「褒めて伸ばす」教育への傾向があるため、叱責されることに耐性がありません。また、家族・兄弟・同僚等の他者との結びつきが日本社会のものより強いため、人前で叱責されることを特に苦手とします。(人前でからかわれることに関しても同様です。感性が大きく異なるため、ジョークで済む話が思わぬ誤解となることがあります)講師を含め、フィリピン人スタッフに物言いをするときは、内容だけではなく場にも注意してください。難しいことがあれば、まずはステューデントアシスタントにご相談ください。

衛生・ニオイに敏感

意外かもしれませんが、フィリピン人は日本人と同じように清潔感を大切にします。特に「衛生・ニオイ」に関しては厳しいため、注意が必要です。フィリピンでは気候をはじめ、水や食べるものが異なります。学校生活では生活習慣も日本とは変わる人が多いため、(日本社会では当たり前の)日本人独特のニオイを出してしまうことがあります。国が異なることから、耐性のないニオイもあります。朝晩シャワーを浴びる、歯をしっかり磨く等の配慮をすればこのような状況を避けることができますので、日頃から配慮を忘れないようにしてください。

※特にマンツーマン教室のような狭い密室空間では目立ってしまいます。お互いに悪気があってのことではありませんので、講師やスタッフから指導が入っても深く受け止めないでくだし。

お金(所得格差)

日本とフィリピンの間には大きな所得格差があります。フィリピンの給与水準では、学校で働く講師たちは高い部類に属しますが、それでも日本社会の平均的な所得平均とは数倍の開きがあります。金銭の贈与および貸し借りは含め、お金に関わる話題も可能な限り避けるようにしてください。信頼関係を崩さないためにも、お金に関わるやりとりには最新の注意を払ってください。

※最悪返ってこなくても良い、という感覚でもお金を貸すことは絶対やめてください。 これから渡航する学生へ迷惑がかかる可能性があります。

明るい性格

フィリピン人の気質で一番ポピュラーなのは「性格の明るさ」です。陽気で笑いに溢れる国民性のため、人に対して非常にポジティブに向き合います。良いことではありますが、裏を返せば物事に対して楽観的な面もあります。 講師と仲良くなることは大いにしていただきたいですが、身の安全や社会的なルールへについては、フィリピン人に流されず、自身でもしっかりと考えを持つようにしてください。

時間にルーズ

暑い国ではよくある「時間に対してルーズ」な気質はフィリピンでもあります。全てではありますが、全体的に時間におおらかな人が多いです。待ち合わせや約束があっても、時間に対しては大きな期待をしないようにしましょう。但し、学校では別です。講師が授業に遅刻するようであれば、すぐに最寄りのスタッフへ伝えてください。